

公益財団法人 8020 推進財団

平成 25 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： かかりつけ歯科医「口腔がん」普及啓発事業
継続事業 (1年目)

2. 申請者名： 社団法人 東京都歯科医師会
会長 高橋 哲夫

3. 実施組織： 社団法人 東京都歯科医師会
成人保健医療常任委員会

4. 事業の概要：

都民に対し「口の中にもがんは出来る」という認識を持ってもらうために、口腔内のことは口腔がんも含め、何時でも気軽にかかりつけ歯科医に相談できることが口腔疾患の早期発見に繋がり、都民の健康保持・増進に極めて重要であると考えている。そこで、3か年計画として、まずは、歯科医療従事者に対して、口腔がんの早期発見に資するため、数多くの口腔粘膜疾患の症例や前がん病変等を紹介し、『診断力の向上』を目指し、現状における検査法や地域で連携のできる高次医療機関の紹介等を内容とした講演会等を実施し、最終年では、都民に対する普及啓発も併せておこなっていききたい。

5. 事業の内容：

【1年目】

委員会の設置（学識者等の参加）。都内 55 各区市町村歯科医師会への口腔がん対策事業に関するアンケート調査の実施。都内高次医療機関への紹介状況を把握するためのアンケート調査の実施。内容歯科医師向け「口腔がん」講演会実施に向けた講演内容、講師等の検討。年 2 回の講演会実施。（本会）

【2年目】

委員会の設置（学識者等の参加）。年 2 回の歯科医師向け「口腔がん講演会」の実施（区市町村開催）

※ 1 年目の各アンケート報告の纏めを受講者へフィードバック

【3年目】

委員会の設置（学識者等の参加）。年 1 回の講演会実施（区市町村開催）

年 1 回のフォーラム開催（最終年）。都民向け普及啓発リーフレットの作成、報告書の作成

6. 実施後の評価（今後の課題）：

他の先進国と比べ日本では「口腔がん」が年々増加傾向にある。これは世の中で「口腔がん」というものが一般的ではないと考えられ、都民に対してもっと「口の中にもがんは出来る」という認識をもってもらわなければならない。そのため、次年度も引き続き講演会を実施し都民に対する普及啓発活動を行い、さらには地域における口腔がん対策への取り組み状況を調べ、今後の活動に役立てることが重要と考える。